

心理学総合演習Ⅳ

選択 2単位

早川 友恵

1. 授業の概要(ねらい)

ヒトの「こころ」の成立機序(解剖・生理)について、最近の研究成果について理解を深める。心理臨床で扱う障害を想定し、その神経生理学的背景および評価を理解し、神経生理学的視点に立った合理的な支援の在り方を考える。

2. 授業の到達目標

中枢神経系の基本構造・機能とこころの関係を理解できる。神経生理学の知見に基づく、評価と合理的支援を考えることができる。

3. 成績評価の方法および基準

発表内容および試験成績を学期末に総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は特に指定しない。授業時に必要に応じてプリントを配付する。

参考文献

金澤一郎(監修)、宮下保司(監修) 『カンデル神経科学』 (メディカルサイエンスインターナショナル)
ジョン ビネル(著) 『ビネル バイオサイコロジー—脳 心と行動の神経科学』 (西村書店)

5. 準備学習の内容

授業テーマに沿った発表を行なうに際し、十分な事前調査を行い、充実したプレゼンテーションができるよう準備しておく。

6. その他履修上の注意事項

事前学習を欠かさず、積極的な態度で臨んで欲しい。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の方針を説明し、各授業回の担当を割り当てる。
- 【第2回】 「こころ」の成立基盤 神経生理の基本を議論する。
- 【第3回】 後頭葉機能を理解し、その評価方法を議論する。
- 【第4回】 側頭葉機能を理解し、その評価方法を議論する。
- 【第5回】 頭頂葉機能を理解し、その評価方法を議論する。
- 【第6回】 前頭葉機能を理解し、その評価方法を議論する。
- 【第7回】 ストレスの生理機能と評価方法を議論する。
- 【第8回】 自閉症の脳機能特性を議論する。
- 【第9回】 注意欠陥多動性障害の脳機能特性を議論する。
- 【第10回】 限局性学習症の脳機能特性を議論する。
- 【第11回】 精神疾患の脳機能特性を議論する。
- 【第12回】 ストレスの脳機能特性を議論する。
- 【第13回】 最新の神経科学研究のトピックスを議論する。
- 【第14回】 最新の神経科学研究のトピックスを議論する。
- 【第15回】 理解度を確認する。